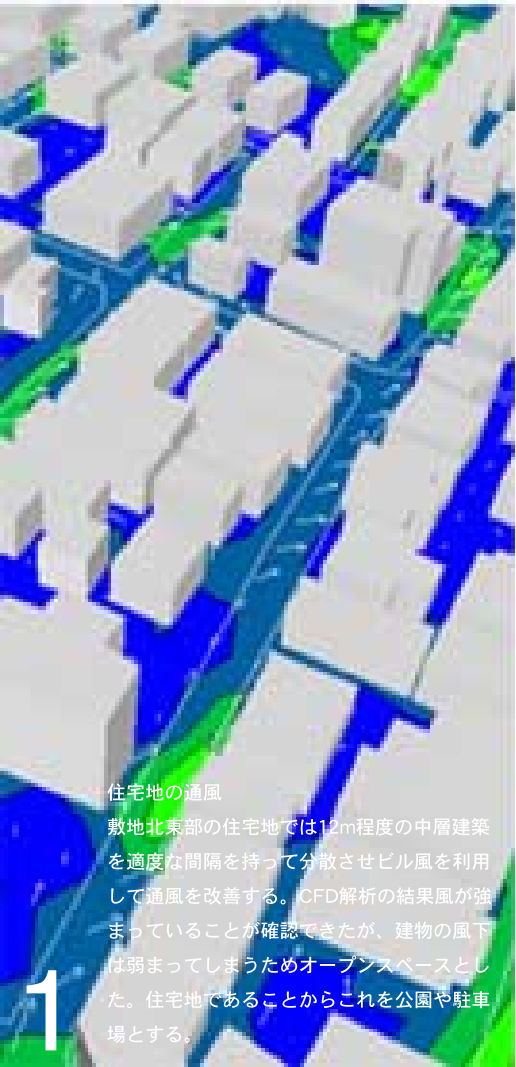


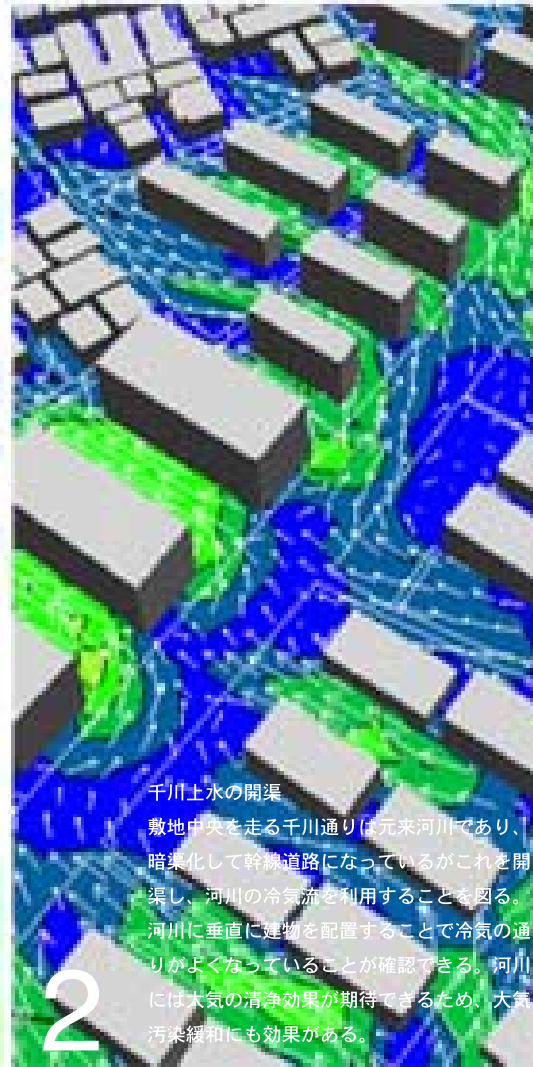
WIND CITY PROJECT



住宅地の通風

敷地北東部の住宅地では12m程度の中層建築を適度な間隔を持って分散させビル風を利用して通風を改善する。CFD解析の結果風が強まっていることが確認できたが、建物の風下は弱まってしまうためオープンスペースとした。住宅地であることからこれを公園や駐車場とする。

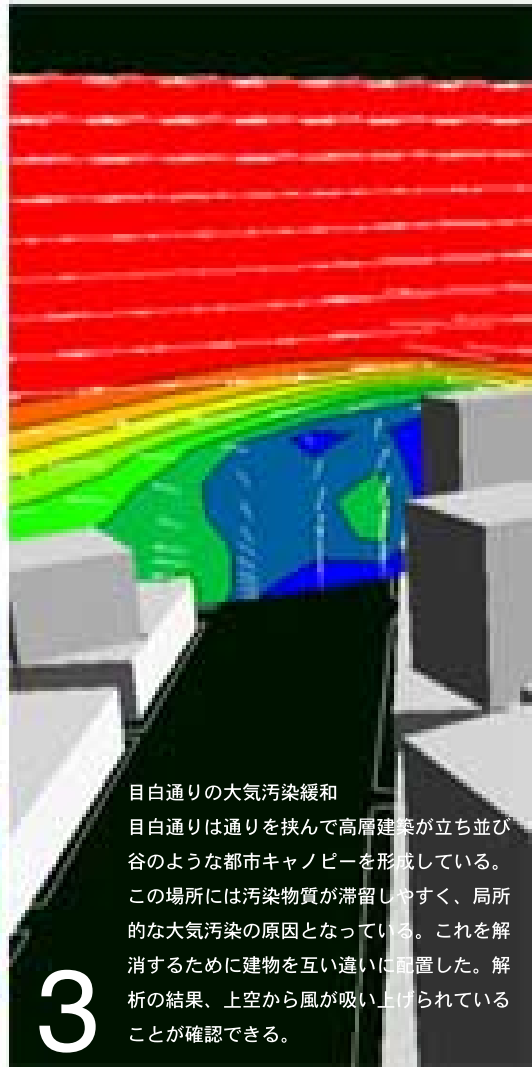
1



千川上水の開渠

敷地中央を走る千川通りは元来河川であり、暗渠化して幹線道路になっているがこれを開渠し、河川の冷気流を利用することを図る。河川に垂直に建物を配置することで冷気の通りがよくなっていることが確認できる。河川には大気の清浄効果が期待できるため、大気汚染緩和にも効果がある。

2



目白通りの大気汚染緩和

目白通りは通りを挟んで高層建築が立ち並び谷のような都市キャノピーを形成している。この場所には汚染物質が滞留しやすく、局所的な大気汚染の原因となっている。これを解消するために建物を互い違いに配置した。解析の結果、上空から風が吸い上げられていることが確認できる。

3

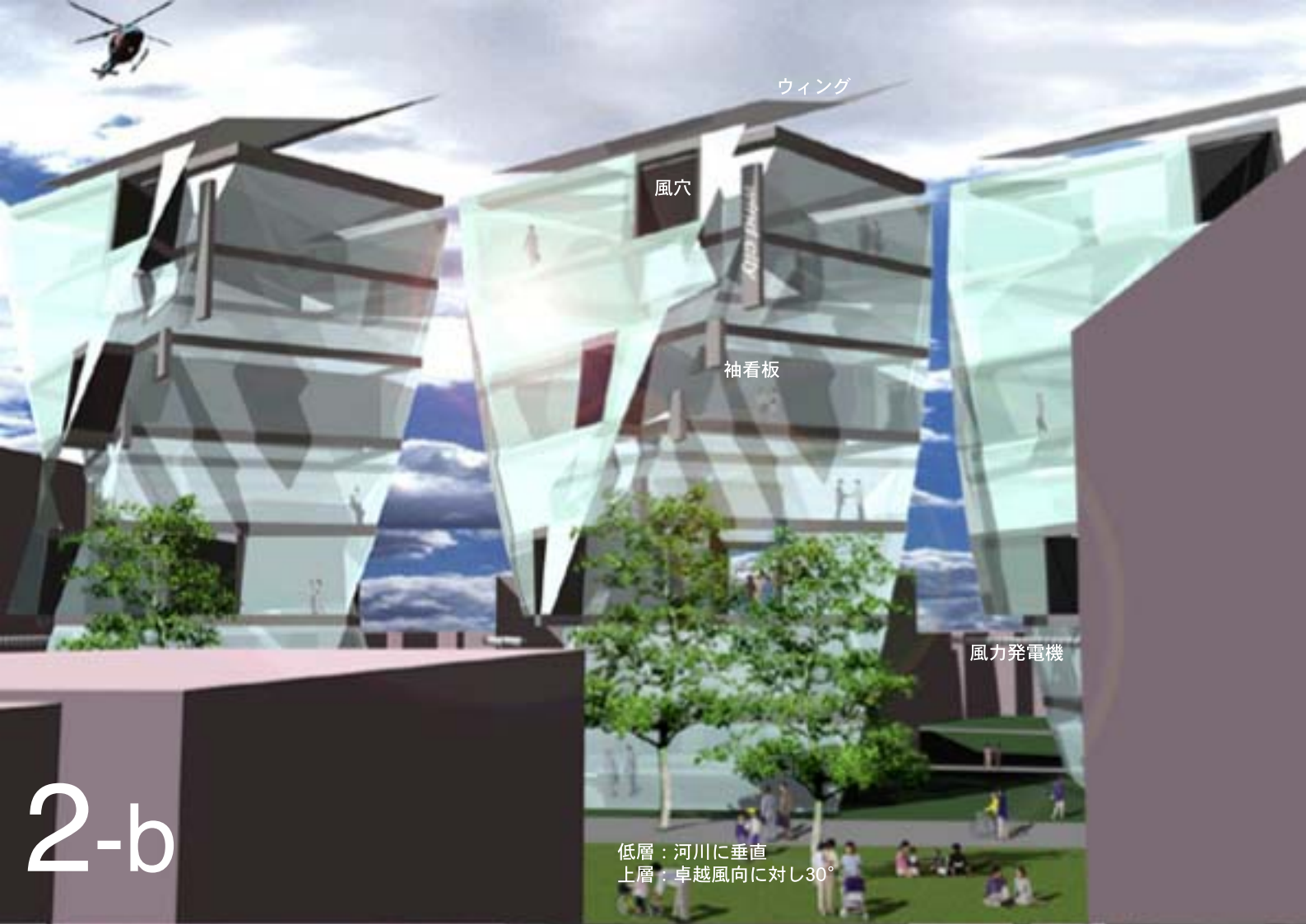


駐車場

中層建築

縮小

ポケットパーク



ウイング

風穴

袖看板

風力発電機

2-b

低層：河川に垂直
上層：卓越風向に対し30°



垂直配置

千川上水

駐車場

風穴

外階段

2-c



高層建物

外階段

屋上庭園

外階段

3

目白通り